

競技上の注意事項(お願い)

《冬季ダブルス選手権大会の注意事項》

1. 個人戦の受付は、各会場において、開始式前までに出場選手本人が行ってください。
 - a. Aクラスの申込後の選手変更は認めない。大会に参加できない生徒が出た場合の措置については権とし、替わりの選手が出る時にはオープンとし、初戦とコンソレのみ行う。
 - b. B Cクラスの申込後の選手変更は、変更後の選手がいずれのクラスにも参加していない選手に限り認める。他クラスに参加している選手が替わりに出場する場合は、原則として初戦とコンソレのみ行い勝ち上がれない。
2. 試合球は、ダンロップフォート(イエロー)を使用します。出場する選手が準備してください。若番(ドロー番号の小さい方の選手)が試合開始時に開封し、試合球として使用します。対戦後、勝者が未開封のボールを持ち帰り、次の対戦に使用してください。開封されたボールは敗者が持ち帰ってください。
3. 服装については、J T Aテニスルールブックに定めるテニスウェアであることを基本としますが、全国高体連テニス専門部が定める「全国高等学校体育連盟テニス専門部服装規定」に従ってください。また、ゼッケンによる学校名の掲示を励行します。ゼッケンは右胸に着用してください。
4. 試合は、可能な限りオーダー・オブ・プレー表の指示により進行します。控えの選手は、オーダー・オブ・プレー表に注意して、前の試合終了後直ちにコートに入り試合を始めてください。
5. 審判について
 - a. 各コート1巡目の対戦はセルフジャッジ方式で行います。
 - b. 2巡目以降は、原則として当該コートの前の試合の敗者によるS C U(ソロチェアアンパイア)方式で行います。
 - c. 選手は、判定のコールを相手とS C Uにはっきりと分かる大きな声とハンドシグナルを使って、ボールの着地後、速やかに行ってください。事実問題の最終裁定はS C Uです。
 - d. 審判は、水分補給、帽子の着用、日傘の使用、防寒着等を用いて体調管理に努めてください。
6. Aクラスについては、1セットマッチで行います。6ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用します。Bクラス、Cクラスについては、6ゲーム先取で行います。5ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用します。
 - a. Aクラスは、アドバンテージ有りの方式を採用します。
 - b. B Cクラスは、ノーアドバンテージで行います。デュースになった場合、次の1ポイントを取得した方がゲームを取得する方式です。レシーバーはコートの右サイドか左サイドのどちらでレシーブするかを速やかに選択しなければなりません。また、一度選択したらプレーするサイドを変更することはできません。審判のコールは「デュース」です。ノーアドバンテージ方式を採用し忘れて試合を進め、誤りに気付いた際の対処は以下の通りです。
 - b-1. ノーアドバンテージ方式を採用しないまま試合を進めてゲームが成立した場合、気付く前に成立したゲームはやり直しや変更等をせずに有効となります。
 - b-2. 誤りに気付いたときにデュースであった場合、すぐにノーアドバンテージ方式に切り換える。
 - b-3. デュースの後に1ポイントプレーした時点で誤りに気付いた場合、その結果は有効となり、そのゲームは終了したものとします。
 - c. 3位決定戦を行います。
7. 全ての試合でノーレットルールを採用します。サービスがネットに触れたとしてもインプレーとする方式です。
 - a. 選手がレットだと思ってプレーを止めた場合、その選手の失点となります。
 - b. 選手が誤ってレットのコールをした場合、1回目から失点となります。
 - c. 双方の選手等が気付かず、ノーレット方式を採用しないまま試合を進めてポイントが成立した場合、気付く前に成立したポイントはやり直しや変更等をせずに有効となります。
 - d. S C Uが誤ってレットをコールした場合、ファーストサーブ、セカンドサーブに関係なくポイントレット(ファーストサービスからの打ち直し)となります。
 - e. ダブルスでは、レシーバー側の決められたサイドの選手がレシーブをしなければなりません。
※「ショートセット方式」(4ゲームでの試合)でのダブルスの場合は、ネットインしたボールをレシーバー側のどちらの選手でも返球できますが、ショートセット方式の採用予定はありません。
8. 全てのクラスで、初戦敗者同士による対戦(コンソレ)を1ペア1試合ずつ行います。
 - a. 6ゲーム先取ノーアドバンテージで行います。5ゲームズオールでITF方式タイブレークを採用します。
 - b. ボールは、若番が敗者としてもらったボールを使用します。

- c. コンソレ終了後、勝者は、試合で使用しなかったボール(1 試合使用のボール)をもらい、直ちに本部に結果を報告すること。敗者は、試合で使ったボール(2 試合使用のボール)をもらい、コートに待機し次の試合のソロチェアアンパイアを行う。
9. ベンチは本部に近い方を若番が使用します。
 10. スコアボードは、コート後方のサイドライン延長線上の外側に置いてください。スコアボードは、上の段または審判台側または左側を若番が使用します。スコアの変更は、エンドチェンジの際に選手が行います。
 11. 試合前のウォームアップは原則としてサーブ4本のみとします。ただし、上位戦は3分間練習を行うことがあります。3分間練習の際は、サーブから始めてください。
 12. 25秒ルール・90秒ルールを厳守してください。
 13. ボールパーソンは、各コート1名認めます。ボールパーソンは、原則としてテニスウェアを着用してください。(全国大会では、ボールパーソンが認められるのはシングルスのみです)
 14. 体力の消耗によるMTO(メディカルタイムアウト)はありません。体力の消耗により遅延が生じた場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度のセルフケア(ダブルスであればペアのサポートは可能)の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです。他の大会ではこのような規定はありません)ただし、選手が危険な状態であると大会本部が判断した場合は、該当選手の途中棄権とします。
 15. トイレットブレイクはありません。緊急にトイレに行かなければならない状況になった場合は、大会本部に速やかに伝えてください。その際、相手への1ゲーム譲渡につき2分程度の時間を、本部の判断により認めることがあります。(熊本県高体連の特別ルールです。他の大会ではこのような規定はありません)
 16. タオルについては、コート後方に置くことを認めます。(熊本県高体連の特別ルールです。九州大会および全国大会においては、大会本部が準備するカゴや椅子に置くこととなっています。)
 17. 荒天や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更を行うことがあります。高体連テニス専門部ホームページからの情報にご留意いただくとともに、大会本部の指示に従ってください。雨天の場合も出場選手は一旦試合会場にて受付を行い、以後の日程の連絡を受け取ることを原則としています。